

【上田市】 1人1台端末の利活用に係る計画

項目	内容
①1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿	・ 教師主導で教える授業から、子どもが主体となって学ぶ授業への転換を目指す。 ・ ICTの効果的な活用によって、児童生徒が「個別最適」かつ「協働的」に学ぶことで「主体的・対話的で深い学び」を実現していく。
②GIGA第1期の総括	・ 1人1台端末の整備と教職員PCネットワークの整備を行い、普通教室、特別教室等について整備が完了した。教職員PCの更新も計画的に行い、Wi-Fi利用も可能となった。 ・ 1人1台端末の活用推進のため、各種アプリについての研修や授業公開、有識者を招いての研修会等を開催した。 ・ 授業でのICT機器の活用について、「週3回以上」と回答した児童生徒の割合は、小学校63.6%、中学校75.3%（R6全国学調児童生徒質問より）であった。小中ともに県や全国の値を上回っており、日常的にICT機器が活用されるようになってきている。 ・ 小中ともに「考えを共有したり比べたりしやすくなる」や「友達と協力しながら学習を進めることができる」の項目で県や全国の値をやや下回っており、協働的な学習に関わる項目での活用に課題が見られた。
③1人1台端末の利活用方策	【1人1台端末の活用】 ・ ICT機器を効果的に活用することで、児童生徒の学習状況に応じた個別最適な学び、各自の考えを発信し共有するなどの協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びを推進する。 ・ 教職員が授業でICT機器を効果的に活用できるようにするために、教職員に対しての研修や授業支援を充実させ、ICTを活用した指導力の向上を図る。 ・ 各学校のニーズや課題に応じた研修を実施するとともに、学校代表が参加する情報教育主任会で授業や校務等でのICTの活用方法について情報共有をしていく。 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】 ・ 小中ともに（ICTを活用することで）「考えを共有したり比べたりしやすくなる」と「友達と協力しながら学習を進めることができる」の項目で（R6全国学調児童生徒質問より）全国値をやや下回っており、協働的な学習に関わる項目で課題が見られる。 ・ ICTを活用して、児童生徒の興味・関心や個に応じた追究ができるような授業づくり、また意見交換や考えの練り上げ場面の活性化を課題として授業改善に取り組む。また、その手助けとなる授業支援ソフトの導入についても検討をしていく。 ・ 具体的な活用事例の紹介や職員への研修を充実させることで、協働的な学習場面での活用を推進していきたい。 【学びの保障（臨時休業等の緊急時・不登校対策・特別支援教育・外国人児童生徒）】 ・ 不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒に対して、オンライン授業や教育相談など多様な場面でのICTの活用方法を検討し、有効に活用していく。 ・ 障がいのある児童生徒については、デジタル教材等を整備することで学習の効果を高めていく。これらを実現していくために、引き続き端末やネットワーク基盤の安定した稼働を目指す。